

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
SIENTA

専用シートカバー取付説明書

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

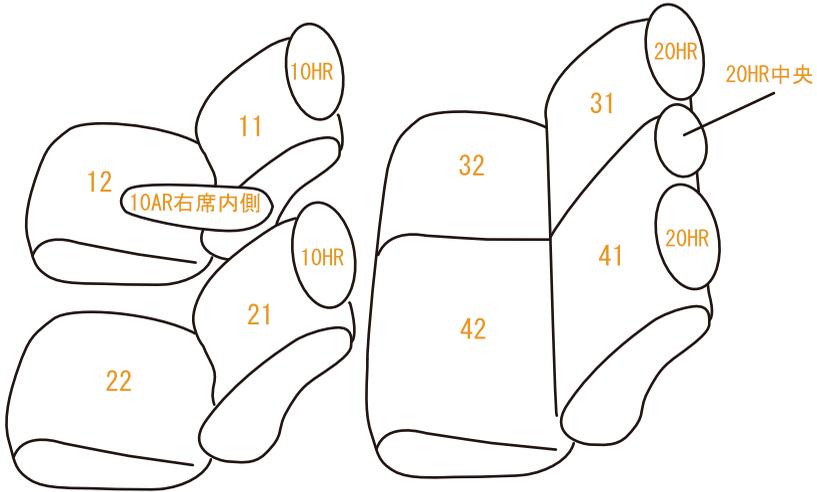
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	→ 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	→ 3P~4P
1 列目座面の装着方法	→ 5P~7P
1 列目背もたれの装着方法	→ 8P~11P
2 列目座面の装着方法	→ 12P~14P
2 列目背もたれの装着方法	→ 15P~16P
ヘッドレストの装着方法	→ 17P~19P
アームレストの装着方法	→ 20P
オプション・インテリアイルミネーション 装備車の装着方法	→ 21P~22P
オプション・シートバックテーブル (アシストグリップ付き) 装備車の装着方法	→ 23P~24P
完成図	→ 25P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	→ 26P~27P

本製品シート形状とパーツの名称



※1列目アームレスト装備車のシートレイアウトになります。
1列目アームレスト未装備車の場合も、アームレスト以外の
パーツは同様になります。

取付必要工具



- 1 ソケットレンチ ※下記装備車のみ必要になります。
ソケット・14mm ※こちらは運転席アームレスト装備車に必要になります。
ソケット・10mm ※こちらはシートバックテーブル（アシストグリップ付き）装備車に必要になります。
- 2 プラスドライバー ※こちらはシートバックテーブル（アシストグリップ付き）装備車に必要になります。
- 3 ハサミ ※こちらはインテリアイルミネーション装備車、もしくはシートバックテーブル（アシストグリップ付き）装備車に必要になります。
- 4 ヘラ（付属）

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…>1列目座面の装着方法

※オプション・インテリアイルミネーション装備車は、21ページ・22ページを先に確認してください。



- 1 背もたれの背面からシート裏にかけて、シートを覆っている図の生地を外します。生地はシート裏にゴムを引っ掛けて固定しているので、ゴムの固定を解くと外れます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれを一番起こした状態が隙間が一番広くなります。



- 2 運転席はシートリフターでシートを一番高い位置に調整して、シートカバーの装着を行います。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。この際、シートの背面側にある配線部分に注意して生地を引き出してください。※左側の配線は、装備によってない場合もあります。



- 3 シートの前側からシートのラインに合わせて、シート全体にカバーをかぶせます。シート前側のプラスチックパーツとシートの隙間にカバーの一部を入れ込みます。



- 6 シート外側のカバーには固定部材が付いています。固定部材を生地と一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



- 7 シート外側の付け根部分です。こちらシートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。こちらは隙間が大変狭くなっているので、ヘラなどを使用して生地をリクライニングレバー側へ押し込むと、生地が入りやすくなります。



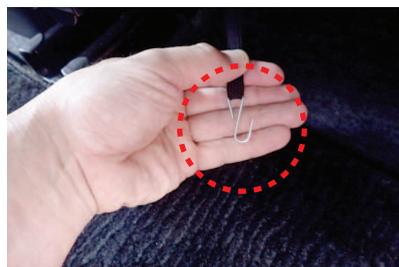
- 8 シート内側です。こちら外側同様に、固定部材を生地と一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に押し込み固定します。



- 9 シート内側の付け根部分です。生地の上にはゴムが付いています。ゴムをシートベルトのバックルが出ている隙間からシートの裏へ入れ込みます。



- 10 入れ込んだゴムをシート背面のシートから図のように引き出します。
1列目座面は、運転席・助手席共に同様に取り付けを行いますが、2024年5月の一部改良後のモデルから、助手席は図のようにゴムが引き出せなくなっています。対象車両の固定方法は、17番・18番を確認してください。



- 11 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 12 金属フックをゴムに一定のテンションが掛かる位置で、シート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



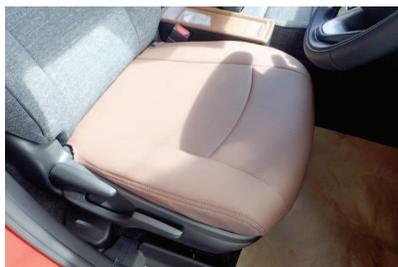
- 13** シート前側のカバーに付いている3本のベルトを、シート裏を通して背面側へ入れ込みます。ベルトはスライドレバーやシート裏にあるパーツの上を通しながら入れ込んでください。シートの背面側からベルトを引き出します。



- 14** 引き出したベルトを5番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



- 15** ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央を通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引くと縫製糸が切れて、ベルトが抜けてしまう恐れがあるので、注意してください。



- 16** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席は、2024年5月の一部改良前のモデルまでは同様に取り付けます。2024年5月の一部改良後のモデルからシートベルトバックル部分の形状が変更されています。対象の車両の場合は**17番・18番**を確認してください。



- 17** 助手席は2024年5月の一部改良後のモデルから、**10番**のようにシートの裏からゴムを引き出せなくなっています。そのためカバーの固定方法が一部異なります。まず、カバーに付いているゴムを、シートベルトのバックルに2重から3重巻き付けます。



- 18** 巻き付けたゴムを、バックルの軸部分に下げていきます。カバーの端の生地をプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。その他は、運転席と同様に取り付けを行ってください。
- 7P ▶**

Step 2

…>1列目背もたれの装着方法



注意

サイドエアバック装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバックについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

※オプション・シートバックテーブル（アシストグリップ付き）装備車は23ページ・24ページを先に確認してください。



- 1 アームレスト装備車は始めにアームレストをシートから外します。まず図のプラスチックキャップをへらなどを使用して外します。



- 2 キャップを外すと中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。



- 3 ボルトを外すとアームレストが図のように外れます。



- 4 カバー両側面のファスナーを開けておきます。カバーをシートのラインに合わせてシート全体にかぶせます。



- 5 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。始めに台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 生地の伸びを利用して台座を全て取り出します。革を使用したカバーでは、革が伸びないため生地の端が裂けてくることがあります。少し生地が裂けても台座のフチに隠れます。裂けた部分がそれ以上広がらないように作業は慎重に行ってください。



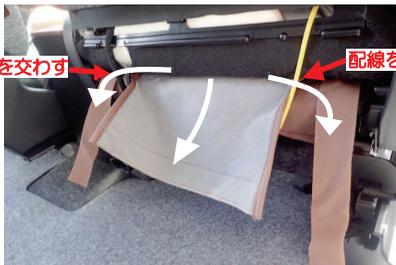
- 7 5ページ1番の生地をめくり上げて、カバーの内側へ入れ込みます。
 ※ディーラーオプションのインテリアイルミネーション装備車は、この作業のタイミングで22ページ7番の作業を行うことを推奨します。



- 8 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
 背もたれを一番起こした状態が隙間が一番広くなります。



- 9 8番で入れ込んだ生地の両端に付いているマジックテープを、隙間の広い中央側へ寄せて図のように入れ込みます。
 マジックテープをシートの背面側から引き出す際、マジックテープが捻じれないように注意して入れ込んでください。



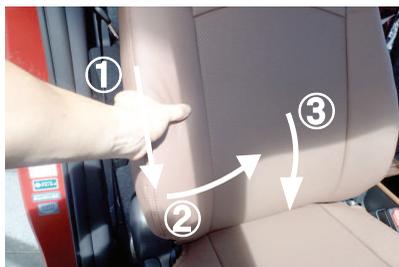
- 10 入れ込んだ生地とマジックテープをシートの背面側から引き出します。
 マジックテープは一旦中央から引き出し、配線を交わして端へ寄せていきます。



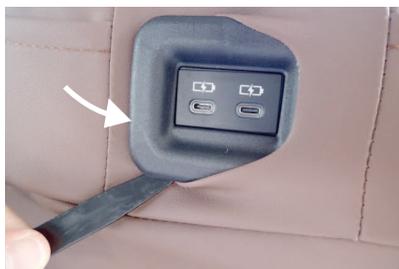
- 11 カバー両側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
 片側のファスナーのみ先に全て閉じてしまうと、カバーがシートのラインからずれてしまう場合があります。10cm程度ずつ交互に閉じていくようにしてください。
 ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 12 ファスナーを全て閉じたら、ファスナーの端を折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 13 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を10番と同様にシートの背面側から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 14 シートの背面側です。USBチャージャーが装備されている車はプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。プラスチックパーツの固定はさほど強くありません。ヘラなどを使用して慎重に生地を入れ込んでください。



- 15 USBチャージャー周りは図のようになります。



- 16 10番で引き出した生地とマジックテープをカバーの背面下と固定します。両端のマジックテープは少し長めにしています。マジックテープが弛まないように適度な位置で固定してください。



注意

サイドエアバックが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバックが開かない可能性があります。危険です。



- 17 カバー背面下の生地にゴムが付いています。



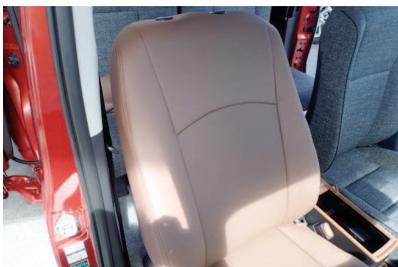
- 18 ゴムをシート裏の白いフックに引っ掛けて固定します。白いフックの位置が分かりにくい場合は、金属フレームに引っ掛けていただいても問題ありません。ゴムは直接引っ掛けても、6ページ12番同様に、付属の金属フックを使用して固定していただいても問題ありません。



- 19 シートの背面下は図のようになります。



- 20 シートの背面は図のようになります。
図はUSBチャージャー・シートボックス
マホポケット装備車になります。



- 21 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。
カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 3

…>2列目座面の装着方法

2列目座面の装着方法は、助手席側で説明を行います。



- 1 シート内側のシートベルトのバックル部分です。こちらはバックルをゴムに通して固定されています。シートカバーを装着する前に、ゴムからバックルを抜き出します。



- 4 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



- 2 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 中央席の背面です。引き出した生地を直接シートに貼り付けて固定します。



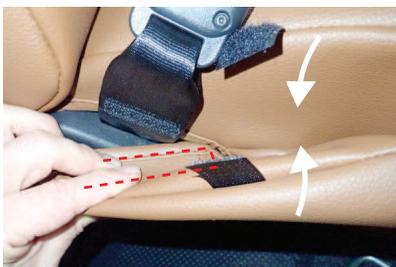
- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 助手席側の背面です。引き出した生地を直接シートに貼り付けて固定します。



- 7 シートの前側です。スライドレバーを避けて、カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 8 シート内側のシートベルトバックル収納部です。運転席側のシートを跳ね上げた状態で作業を行ってください。収納部の形状に生地を沿わせるように整えます。収納部の内側にカバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 9 シート内側面です。カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 10 9番で貼り付けた生地の端に付いているマジックテープをシートの裏側に引き出し、直接シートに貼り付けて固定します。運転席側にはこちらのマジックテープは付いておりません。



- 11 シートベルトバックルを元に戻し、マジックテープで固定しておきます。マジックテープは、シートベルトバックルを使用しない際は必ず固定してください。こちらのマジックテープが外れた状態でシートを跳ね上げる動作をすると、運転席側のシートと干渉して、シートの動作を妨げたり、生地がめくれる恐れがあります。運転席側はバックルをカバーのゴムに通して固定する仕様です。



- 12 シート外側の側面です。シートの裏側にカバーを入れ込み、カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 13 シート外側の付け根部分です。シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込み、カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 14 シートベルトのバックルをカバーの加工穴から取り出します。この際、バックルにシートベルトを差し込み引張り張ります。



- 15 シートベルトを引っ張った状態で、バックルが出ているシートのフチに生地を入れ込みます。カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 16 シートベルトのバックル部分は図のようになります。



- 17 シートの軸部分の隙間に生地を入れ込みます。こちらはシートクッションの裏側に生地を入れ込むように作業を行ってください。



- 18 カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面の完成です。運転席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けてください。

Step 4

…>2列目背もたれの装着方法

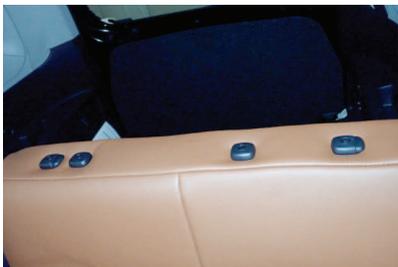
2列目背もたれの装着方法は、助手席側で説明を行います。



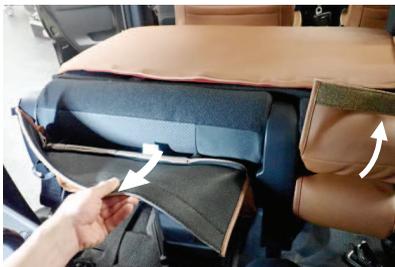
- 1 カバー内側面のファスナーを開いておきま
す。
カバーをシートのラインに合わせてシート
全体にかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みま
す。



- 2 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から
取り出します。



- 5 3番・4番で入れ込んだ生地をシートの背
面側から引き出します。



- 3 中央席の背もたれと座面の隙間に、図のよ
うに生地を入れ込みます。



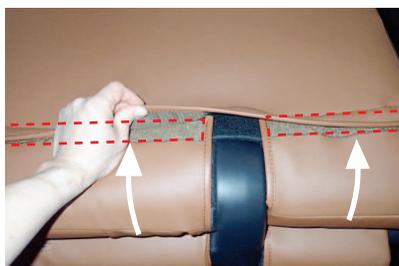
- 6 内側面のファスナーを、生地同士を内側へ
寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具
を使用して無理に閉じようとすると、ファ
スナーが破損する恐れがあります。



7 ファスナーを全て閉じたら、ファスナーの端を折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



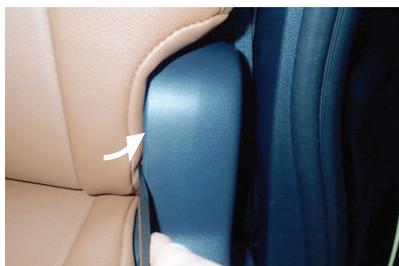
10 シートを跳ね上げて、9番と同様にヘラなどを使用して、シートとプラスチックパーツの隙間に生地をしっかりと入れ込みます。



8 引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



11 シート中央の軸部分です。こちらにもヘラなどを使用して、シートとプラスチックパーツの隙間に生地をしっかりと入れ込みます。



9 シートの軸部分です。こちらに生地が引っ掛かっている場合があります。ヘラなどを使用して、シートとプラスチックパーツの隙間に生地をしっかりと入れ込みます。



12 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けてください。

Step5

…>ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト

生地が裂けないように注意する



- 1 カバーを半分ほど裏返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。
この際、図の赤丸部分に負荷がかかり過ぎると生地が裂ける恐れがありますので、装着する際は注意してください。
カバーは板状のプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



- 2 裏返していた生地を左右均等に引き下げてカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を図のように寄せ合い、生地の端に付いているマジックテープを固定します。



- 4 カバー前後のプラスチックパーツを固定します。



- 5 プラスチックパーツの固定方法は、フック状のプラスチックパーツに板状のプラスチックパーツを生地と一緒に折り返してはめ込み固定します。



- 6 プラスチックパーツを固定するとヘッドレスト裏は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 3 ヘッドレストをシートから外して、両端の生地を内へ寄せ合い、生地端に付いているマジックテープを固定します。

2列目ヘッドレスト（運転席・助手席側用）



生地が裂けないように注意する

- 1 ヘッドレストの先端から後ろ側へカバーをかぶせます。カバーは板状のプラスチックパーツが付いている方が先端側になります。この際、図の赤丸部分に負荷がかかり過ぎると生地が裂ける恐れがありますので、装着する際は注意してください。



- 4 1列目のヘッドレストと同様にプラスチックパーツを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、カバーのラインを整えます。



- 5 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレスト（運転席・助手席側用）の完成です。

2列目ヘッドレスト（中央席用）

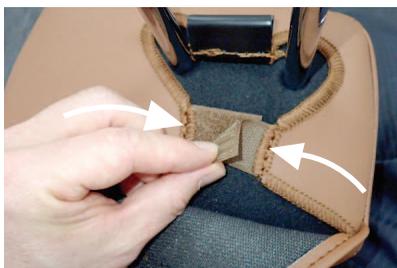


生地が裂けないように注意する

- 1 図のようにヘッドレストの片側に引っ掛けるようにしてカバーをかぶせていきます。カバーは板状のプラスチックパーツが付いている方が前側になります。この際、図の赤丸部分に負荷がかかり過ぎると生地が裂ける恐れがありますので、装着する際は注意してください。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 3 ヘッドレスをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を図のように寄せ合い、生地の際に付いているマジックテープを固定します。



- 4 1列目のヘッドレストと同様にプラスチックパーツを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 5 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレスト（中央席）の完成です。

Step 6

…>アームレストの装着方法

こちらは1列目アームレスト装備車用になります。



- 1 カバーの大きい方の加工穴から、カバーを図のように裏返します。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



- 2 アームレストの後ろ側に生地を引っ掛けるようにしてかぶせていきます。



- 3 カバーをアームレスト全体にかぶせてカバーのラインを整えます。



- 4 アームレストをシートに固定します。



- 5 フック付きのキャップを生地を挟み込みアームレストに固定します。キャップはツメで固定されているので、ツメの位置を確認してアームレストに固定してください。



- 6 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

…> ディーラーオプション・インテリアイルミネーション 装備車にシートカバーを装着する場合

ディーラーオプションのインテリアイルミネーションはシートカバーの装着の仕方、イルミネーションライトの戻し方により、ライトが元通りの位置を照らさない恐れがあります。正しく作業を行っていただければ問題ありませんが、作業は**自己責任**で行ってください。

シートカバーの装着を始める前に、**1番**から**5番**までの作業を行ってください。



- 1 フロントシートの背面下からシート裏に回っている生地にイルミネーションライトが固定されています。生地を固定しているゴムを、シート裏に引っ掛けているフレームから外します。ゴムの固定を外すと生地が少し手前に出てきます。この際、生地を無理に引っ張るとライトの配線が切れたりする恐れがあるので注意してください。



- 2 ライト部分を生地から外します。ライトはプラスチックパーツを生地に挟んで固定されています。図の矢印位置のツメを外すとプラスチックパーツが開き、ライト部分の固定が外れます。図ではツメが分かりやすいように生地をめくり上げた状態にして説明しています。



- 3 ライト部分の生地が外れました。まだ配線が繋がっているので、ライトを引っ張り出さないようにしてください。



- 4 配線を外します。プラスチックパーツの裏側にあるカブラを外します。



- 5 配線が外れてライト部分が完全に外れました。この状態からシートカバーの装着を始めてください。

9ページ6番の作業の後に6番・7番の作業を行うことを推奨します。



- 6 ライト部分を固定していた生地には、図のように2番のツメを通すための穴が開いています。この穴がシートカバー側にも必要になります。



7 6番の純正シート地の穴位置を参考に、背もたれのシートカバーにハサミなどで穴を開けます。この際ライト部分のツメの位置も意識して作業を行ってください。

※シートカバーは装着の仕方により、シート裏へ回る生地が必ずしも純正シート地と同じ位置へ来るとは限りません。



8 10ページ16番までの作業を終えた状態から、こちらの説明を確認してください。シート裏へ回る生地を固定する前にライトをシートカバーに固定します。



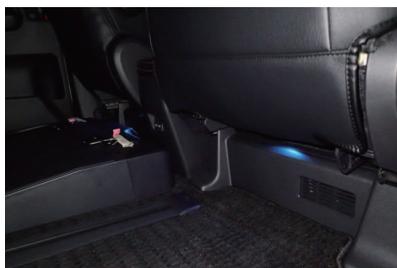
9 ライトを固定したカバーの裏側は図のようになります。



10 ライト部分をシート裏へ入れ込み、4番で外したカブラーを接続します。



11 カバーの端に付いているゴムをシート裏のフックに引っ掛けて固定します。こちらは付属の金属フックを使用して固定していただいても問題ありません。



12 インテリアイルミネーション装備車のシートカバーの装着完了です。ライトの位置は8番のライト固定であったり、11番の生地の固定の際、ゴムの引っ張り具合によっても変わってきます。ライトの位置、ライトが照らす灯りの位置がおかしいと感じた場合は、上記の位置を確認しなおしてください。

…>ディーラーオプション・シートバックテーブル(アシストグリップ付き) 装備車にシートカバーを装着する場合

ディーラーオプションのシートバックテーブル(アシストグリップ付き)を装備されている方は、シートカバーの装着を始める前にこちらを確認してください。



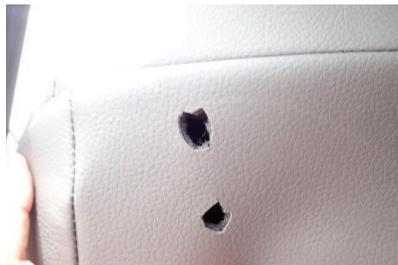
- 1 テーブルを起こした状態で、テーブルの裏を確認すると、ナットが4本あります。ナットをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。ナットを全て外すとテーブルが外れます。



- 2 次にアシストグリップを外します。アシストグリップの付け根の図のプラスチックパーツをへらなどを使用して外します。



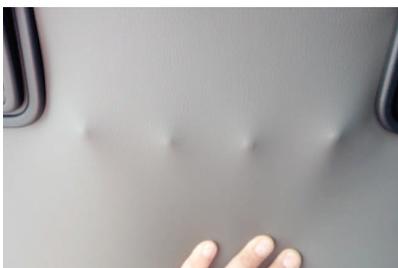
- 3 プラスチックパーツ内側のネジを、プラスドライバーを使用して外します。アシストグリップが図のように外れます。ここからシートカバーの装着を行います。



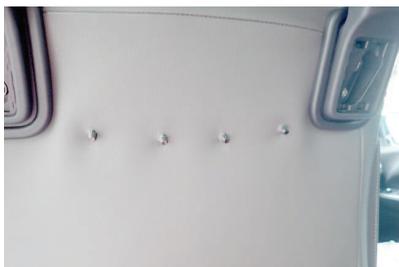
- 4 シートカバーを通常通りに装着して、ここからアシストグリップ、テーブルを戻せるようにカバーに穴開け加工を行います。まずアシストグリップを固定しているネジ穴の位置を手探りで確認して図のように穴を開けます。



- 5 アシストグリップを元通りに固定します。



- 6 次にテーブルを戻します。テーブルを固定していたナット部分の生地をシート側に押し、ボルトの位置が確認できます。



- 7 浮き出たボルト位置の生地を軽く切り込みボルトをカバーから図のように出します。



- 10 ディーラーオプション：シートバックテーブル（アシストグリップ付き）装備車のシートカバーの装着完了です。



- 8 テーブルをシートに戻します。
ナットを元通りに固定します。



- 9 テーブルの裏側は図のようになります。

完成図

完成図は運転席アームレスト、シートバックスマホポケット+充電用USB端子が未装備の車両になります。



1列目



1列目背面



2列目



荷室側から・2列目可倒状態



荷室側から・2列目タンブル状態



スロープ使用時

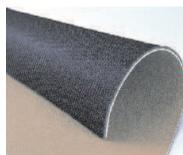


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。

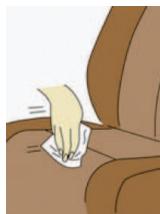


本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

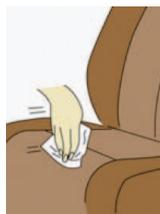
⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816